



2022年12月27日

各 位

会 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス  
代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久  
(コード：2884、東証プライム)  
問合せ先 取 締 役CFO 安東 俊  
(TEL. 03-6206-1271)

## 株式会社マルキチの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2022年12月27日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社マルキチ（以下、「マルキチ」といいます。）の発行済株式70%を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 当社について

当社は、食品の製造及び販売をおこなう中小企業の支援・活性化を目的とし、後継者不在や単独での成長に限界を感じている企業の株式を譲り受けるとともに、持株会社としてグループ全社の経営戦略の立案・実行及び経営管理をおこなっております。各子会社に対しては、セールス・マーケティング、生産管理、購買・物流、商品開発、品質管理、経営管理、海外展開といった機能ごとに横断的な管理をおこなう「中小企業支援プラットフォーム」により経営支援をおこなうことで、国内外の優れた食品企業を存続・成長させ、商品・雇用・取引先を守り、地域経済の維持及び発展に貢献してまいりました。

また、食品卸売業界国内売上高第3位を誇る国分グループ本社株式会社と資本業務提携をおこなうなど、当社の事業基盤強化につながる外部パートナーとも積極的に協働しながら、より一層の事業拡大を図っております。

### 2. 株式会社マルキチについて

マルキチ (<https://marukichi-inc.co.jp/>) は、北海道網走市に本社及び工場を構え、ホタテを中心に、サケ、イクラ、カニ等の製造加工・販売を行う企業です。オホーツク海にて地撒き方式で育てられた良質なホタテ等、新鮮で高品質な素材を調達し、オホーツク海に面する自社工場で獲れたての美味しさを保つ独自の加工技術と高度な鮮度管理により、新鮮さと品質を維持したまま加工・販売を行っています。保有する4つの自社工場は、すべてHACCP認証工場であることに加え、業界では数少ない対EU輸出水産食品取扱施設でもあることから衛生管理には定評があり、日本産ホタテの需要が拡大している海外への販売を積極的に行っています。

### 3. 株式取得の理由

#### ① 海外において需要が増加する日本産ホタテを確保、加工できる施設

日本産ホタテは他国産と比較し、味や大きさ、品質面において高く評価されており、近年、欧米及びアジア

アにおいて需要が高まっています。農林水産省が公表している「農林水産物・食品の輸出額（令和3年（2021年）【確々報値】）」によると、2021年のホタテ輸出額は「農林水産物輸出額」で1位、「輸出額の増加が大きい主な品目」でも金額ベースで1位となっています。

中でも特に、北海道オホーツク海にて地撒き方式で育てられたホタテは、流氷に含まれる豊かな栄養素によりプランクトンが増加した海で生育され、他の地域で行われている垂下式のホタテと比較し運動量も豊富なため、大粒で肉厚に育つとともに、栄養分をたっぷりと蓄え、旨味成分が凝縮されており、世界でも希少価値のあるホタテと評価されています。

マルキチは北海道の漁協5カ所の買参権を保有していることから、オホーツク海で獲れた良質なホタテを安定的に確保することができます。また、オホーツク海に面する工場の立地優位性により、新鮮な原材料をその日のうちにスピード加工し、獲れたての鮮度と品質を維持できるとともに、長年にわたり培われた独自の製造技術や高度な加工技術により高品質な製品を製造することができます。さらに、ホタテ輸出には相手国ごとにHACCP認証を取得する必要がある中、マルキチは徹底された衛生管理により、取得が難しいとされる米国、EUを含めた世界7カ国に対しHACCP認証を取得しており、特にEU向けは4つすべての製造工場と原料保管庫の計5カ所が輸出水産食品取扱施設に認定されているため、需要が高まる海外市場に向けた販売が可能となっております。

## ② 当社グループ企業とのシナジー

シンガポールで水産品卸を行う当社グループのSin Hin Frozen Food Private Limitedは、ホタテを主力製品のひとつとして年間約170トン以上購入しており、現地大手スーパー等へEmeraldブランドとして販売を行っています。Emeraldブランドは現地で一定の知名度があるため、マルキチの安定したホタテ供給力を活かした拡販が可能となり、一方でマルキチは海外販路をより強固なものとするため、両社の業績向上を図れる可能性があります。同じくシンガポールで水産品加工販売を行う当社グループのPACIFIC SORBY PTE. LTD. においても、マルキチの水産品を取扱う等、当社が持つアジアにおける販路を活用した拡販ができる可能性があります。

当社は、今後も海外を中心に需要の拡大が見込まれる北海道産ホタテを仕入れる権利、それを加工する技術と生産設備、輸出に必要な品質認証を保有するマルキチをグループ化し、当社が持つ経営管理力や資金力、シンガポールを中心とした海外販路やネットワークを組み合わせることで、マルキチのさらなる業績拡大を図ることができると考え、株式を取得することにいたしました。

なお、当社はマルキチの発行済株式70%を取得し、対象会社の代表取締役である根田俊昭氏は引き続き30%を保有するとともに代表取締役社長を継続いたします。共に協力関係を構築し、シナジー効果を発揮することで、マルキチの業績向上を目指すとともに、北海道における食品事業の拡大に向けて取り組んでまいります。

なお、本件取得にあたり必要となる資金は、銀行借入により賄う予定です。

## 4. 異動する子会社（株式会社マルキチ）の概要

(1)	名 称	株式会社マルキチ
(2)	所 在 地	北海道網走市北三条東二丁目5番地2

(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 根田 俊昭		
(4)	事業内容	冷凍ホタテ貝柱他帆立製品、鮭・鱈製品及びサケイクラ等鮭鱈魚卵、カニ類製品、冷凍食品の製造及び販売		
(5)	資本金	30百万円		
(6)	設立年月日	1988年8月		
(7)	大株主及び持株比率	根田 俊昭 90.0%、他個人1名 10.0%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はございません。	
		人的関係	該当事項はございません。	
		取引関係	該当事項はございません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
	純資産	1,139百万円	966百万円	1,117百万円
	総資産	6,303百万円	6,630百万円	4,549百万円
	1株当たり純資産	18千円	16千円	18千円
	売上高	3,759百万円	3,934百万円	6,900百万円
	営業利益	519百万円	△173百万円	571百万円
	経常利益	506百万円	△189百万円	660百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	28百万円	△171百万円	150百万円
	1株当たり当期純利益	0.4千円	△2千円	2千円
	1株当たり配当金	168円	－円	－円

#### 5. 株式取得の相手先の概要

(1)	名 称	根田 俊昭		
(2)	住 所	北海道網走市		
(3)	上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はございません。	
		人的関係	該当事項はございません。	
		取引関係	該当事項はございません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	

#### 6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2)	取得株式数	42,000株 (議決権の数：42,000個)

(3) 取得価額	株式会社マルキチの普通株式	2,100百万円
	アドバイザー費用等(概算額)	68百万円
	合計(概算額)	2,168百万円
(4) 異動後の所有株式数	42,000株 (議決権の数:42,000個) (議決権所有割合:70%)	

(注) 本件取得にかかるアドバイザー費用等は、2024年2月期に計上いたしますが、翌期以降は発生いたしません。

#### 7. 日程

(1) 取締役会決議日	2022年12月27日
(2) 契約締結日	2022年12月27日
(3) 株式譲渡実行日	2023年3月1日

#### 8. 今後の見通し

本件株式取得による2024年2月期以降の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、開示すべき事項が発生いたしましたら速やかに開示いたします。

以上